

今回のプロフェッショナルは、ハーレーダビッドソンレインボーの天田昭治さん（以下、天田）と、ハーレーダビッドソンバルコム/岡山店の吉田乗さん（以下、吉田）。

このお二人、ワイドグライドには特に詳しいということで、さっそくお話を聞いてみた。

——吉田さんは、'07年式のFXDWGを個人的にも所有しているのですね。

吉田 そうです。しかも実は自分で所有するワイドグライドとしては2台目になるんですよ。

最初に乗ったのは、'02年式でした。

ちょうどミルウォー

キーにあるアメ

リカの本社で行わ

れる100周年の

イベントに、バイ

クで参加したいと

思ったのがきっかけで。

そのころは、まだこの仕事に就く

前だったのですが、そのワイグラを

アメリカに運んで大陸を横断しまし

た。その時、これはロング・ツーリ

ングに向いている車両だと思いまし

たね。

それにエンジンがラバー・マウン

トだから、ドコドコする感じがダイ

レクトに感じられて気持ちいいんで

す。ツインカム96モデルになってか

らは、このエンジンのドコドコ感が

増しているの、乗っていてさらに

楽しいですね。

今回のプロフェッショナル ①

ハーレーダビッドソンレインボー
天田昭治さん

ワイグラを使ったコンプリート車両もいいかと、たくらむカスタム好き



Scene.1

Professional Talk

プロフェッショナルインタビュー

ワイドグライドでアメリカ横断をした経験をもつ、ハーレーダビッドソンバルコム/岡山店の吉田店長と、ローライダーを始めとした、コンプリート・カスタム車両の開発に取り組む、ハーレーダビッドソンレインボーの天田さん。このお二人にお話を聞きました。

取材協力○ハーレーダビッドソンバルコム/岡山店 ☎086-245-0080、
ハーレーダビッドソンレインボー ☎029-822-6666
撮影協力○RSタイチ(ジャケット) ☎072-874-3268、
ゴールデンキャメル(サングラス) ☎0543-48-0777



鉄馬 インプレ 2007

アメリカンな雰囲気作りにひと役買っているのだと思います。ムダが多いというか…、無骨な感じがアメ車っぽいです。何よりバイクが大きく見えるん

吉田 ワイグラがデビューしたのは80年。ワイリーGが手がけたフアクトリー・カスタムの一台で、スーパードライブ、ローライダーに続く第3弾としてデビューしたんです。

天田

名前の由来にもなっているフ

ロント・フォークの幅が広いのも、

アメリカンな雰囲気作りにひと役買

っているのだと思います。

ムダが多いというか…、無骨な感

じがアメ車っぽいです。

何よりバイクが大きく見えるん

だ。

自分はまだお客として初めて車両

を選ぶ際、ハーレー・ショップの方

に言われたのが、「ワイドグライド

は、アメリカの風を感じることで

きるバイクですよ」というセリフで

した。それで私も落とされちゃいま

したね(笑)。

まさに、アメリカの風を感じて

しまったのですね。このFXDWG

は、そんなにアメリカっぽいイメー

ジなんですか。

天田

ワイドグライドは、69年に公

開された、ハーレー乗りなら誰でも

知っているあの映画『イージー・

ライダー』に出て

くるバイクがモチ

ーフともいわれて

いるんです。あれ

は完全なチョッパ

ーですが、まさに

今回のプロフェッショナルの
ハーレータビッドソン・バルコム 岡山店
吉田乗さん
これで自身5台目のハーレーとなる'07年式のFXDWGを所有。27歳の若手店長



「乗りこなす楽しみを
味わえるバイク
だと思います」





Scene.3 Owner's Talk オーナーズ・トーク

続いてご登場いただくのは、
ワイドグライドに乗る二人組み。
友人に影響されて乗り始めた
という2台の車両は、
カスタムまでソックリ!?

取材協力○ハーレーダビッドソンレインボー
(☎029-822-6666)

ひと目見て
スタイリングに
ほれました!

'05FXDWG/ 押野誠一さん

乗り心地よりもルックスを重視したカスタムを施す。「とにかくメッキ・パーツが好きなので、ハーレー純正のパーツを使って、換えられるところを徐々にメッキ化しています」



——押野さんと仲里さんは、お二人でワイドグライドにお乗りとのことですが、どういう経緯で同じ車種に乘ることになったんですか?
仲里則彦さん(以下、仲里さん) 彼がマネしたんですよ(笑)。
押野誠一さん(以下、押野さん) 何を言ってるんですか。たまたま私も同じバイクが好きだったんです。確かに結果的には、マネしたようなカタチにはなりますが…(笑)。
実は、私達は同じ会社に通勤しているんです。最初にワイグラに乗り出したのは仲里さんなのですが、もともと他の同僚でウルトラに乗っている人がいて、みんな50歳を超えているのですが、「一緒にハーレーに乗りたいたいね」って、いい年をして思い立ったというわけです。
仲里さん つまり病気が伝染したってわけですね(笑)。それで、私が

ワイドグライドのスタイリングにホレて、この'05年式を手に入れ、見せびらかすために会社へ乗っていったんです。
押野さん それでひと目見たら、私も気に入ってしまったわけです。女性と同じようなもので、スタイルを見たらもう…(笑)。さつそく次の休みの日、仲里さんに連れられて「ハーレーダビッドソンレインボー」さんに行きました。
そうしたらまたはかったように、1000キロくらいしか走っていない程度のいいFXDWGの物があつてね…。気づいたら二人して同じワイグラのオーナーになっていた、というわけです。
仲里さん 確かにハーレーって、何となく女性っぽいイメージがあると思いますね。やはり女性は化粧をしている方がきれいに見えるでしょう。



1: ハーレー純正パーツを使い、エンジンまわりをメッキに 2: ダイナで唯一のファットボブ・フェンダーのラインがお気に入り 3: スイングアーム、スプロケもメッキ化

「カスタムはソックリ、ヘルメットまで同じでした(笑)」



アメリカの
アウトローっぽい
感じがいいですね

'05FXDWG
仲里則彦さん

シートやステップを変更して、乗り心地を改善するなど、見た目と機能を兼ね備えたカスタムを心がける。「基本的には、ショップの方と相談してカスタムの方向性を決めています」



1: ハーレーダビッドソンレインボー・オリジナルのシートで乗りやすく 2: ロング・ツーリングが多いので、サドル・バッグはかかせない 3: カバーではなく、本体がメッキのハーレー純正キャリパーもお気に入り



私のバイクはカスタムをしてあつてきれいだったから、そこに彼はホレちゃったみたいです。

仲里さん それもあります。だから私も、負けじとカスタムしました。

— それにしてもお二人のバイクは、カスタムの仕様までもよく似ていますが、これは相談されたりしているんですか？

仲里さん いや、そういうわけではないんですけどね。気づいたらほとんど同じ仕様だった。趣味が似ているんですね。

仲里さん ホントですよ。ヘルメットまで同じなんかも(笑)。

— 実際バイクに乗ってみた感想はどうですか？

押野さん 私がコイツを手に入れたのが今年の2月なのですが、もうずいぶん二人で走りました。ロング・ツーリングも多いですね。

走ってみてわかったのは、長距離もラクだし、ワインディングでも楽しいバイクだということです。

— ポジションがキツイといわれる方もいるようですが…。

仲里さん 多少覚悟はしていました。が、そもそもワイグラーがいいと思つたのは、乗っている時のスタイリングですからね。多少ムリをしても乗ろうと思いました。

それでも足は届かないから、最初からステップを5センチほど手前にしてもらったんです。それと、シートも低くてやや前にくるようなものに変更してもらいました。だから今は、まったく問題ありませんよ。

押野さん 私は、オートバイはこれが初挑戦で、初めからこのポジションだったから、まあこんなものなのかなあと。だから、あまり乗り難いとも感じませんね。